

重要文化財「本願寺本堂」屋根修理事業 地元小中学生の現地見学について



令和6年9月3日
京丹後市教育委員会

久美浜町にある本願寺本堂は本市最古の木造建造物で、重要文化財に指定されています。この本堂を後世に引き継ぐために、令和5年度から2年間の計画で檜皮葺（ひわだぶき）屋根の全面葺き替えを実施しています。

この度、文化財の重要性や保存修理の必要性を伝え、地域の歴史文化を継承するために、地元小中学生を対象に修理現場の現地見学を実施します。

- (1) 場 所 本願寺本堂（京丹後市久美浜町1番地）
- (2) 見 学 校 京丹後市立かぶと山小学校（5年生）
京丹後市立久美浜中学校（1年生）
- (3) 日 時 【かぶと山小学校 5年生】
令和6年9月10日（火）10:35～11:20予定
【久美浜中学校 1年生】
令和6年9月10日（火）13:45～15:20予定
- (4) そ の 他 取材対応は午後からのみとさせていただきます。ご了承ください。



本願寺本堂

本願寺は、奈良時代に行基が開いたと伝える古いお寺です。本堂は、京丹後市内で最も古い木造建築であり、鎌倉時代後期のものと考えられています。檜皮葺きの屋根がゆるやかな曲線を描く美しい建物で、国の重要文化財に指定されています。



檜皮葺とは

日本に古くから伝わるヒノキの樹皮（檜皮）を用いた屋根葺の技法です。檜から皮を剥ぎ、大きさを整えたのち、水に漬けて濡らします。その後等間隔に少しずつずらして並べ、竹釘を用いて檜皮を留めます。重厚かつ柔らかな曲線を作り出せる檜皮葺は、2020年にユネスコ無形文化遺産に登録された「伝統建築工匠の技：木造建造物を受け継ぐための伝統技術」を構成する17分野の技術の一つです。

お問い合わせ先

京丹後市教育委員会事務局 文化財保存活用課 （電話 0772-69-0640）